

高・大・地域連携による人材育成・人材循環の仕組みづくり

一般社団法人北海道総合研究調査会 (HIT)

事業概要

- 北海道内の地方部にて魅力化に取り組む高校と立地自治体において、地域課題の解決策を探る「探究型学習」にデジタル先端技術を活用しつつ、札幌圏の大学生・大学教員が協働で取り組み、札幌圏と道内地方部を越境・循環しながら地方創生を担う人材を高校・大学から育成する仕組みを構築する。
- モデル地域：北海道むかわ町（人口約7,600人）
- 対象：北海道立鷗川高校、札幌大学

進捗状況

5/27 むかわ町「まち歩き・ひと巡りの会」

- ▼ 町民と大学教員等との意見交換。カリキュラム作成に向けての準備

6/27 鷗川高校におけるデジタル技術セミナー①

- ▼ 地域活性化に活用可能なデジタル技術を高校生・大学生が共に学ぶ

7/1 探究型学習「むかわ学」の活動に大学生が参加

- ▼ 高校生グループに大学生が参加し、地域課題や背景などを意見交換

7/20 「むかわ学」中間発表会

- ▼ 探究型学習の中間発表会に大学生がオンラインで参加

7/22 中間発表会を受け大学生からフィードバック

中間発表会での発表に対して大学生から質問や改善点を議論

今後の予定 (継続的な仕組みの構築に向けて)

- 高校生と大学生の夏休み意見交換・交流プログラムを実施 (8月)
- 札幌大学における授業のカリキュラム化 (秋学期)
- 鷗川高校の生徒による札幌大学訪問 (12月 授業、ゼミなど)
- 「むかわ学」提言発表 (12月) に向けた準備 (大学生→高校生)

